

楽しみトマト栽培

仮設住宅に苗など届く

大船渡

大船渡市三陸町の綾里中学校と赤崎町の後ノ入地域に建設された仮設住宅の入居者

に、北海道月形町にある梅木あゆみ代表取締役)からミニトマト苗が届いた。仮設入居者はプランターに植え、夏場の収穫への期待を膨らませていた。

同社では、仮設住宅入居者にトマト苗を送る「トマトプロジェクト」を展開。全国各地から資材提供をはじめ協力を呼びかけながら、支援を進めている。

大船渡への支援は、

ガーデニング活動を展開している猪川町在住の柴田満喜子さんが橋

ット協会から培養土やプランターなどの支援を受けた。

25日にトマト苗などが届き、綾里中学校の

仮設住宅でプランターに植える作業が行われた。26日には後ノ入地域でも行われ、約30人が参加。ミニトマトは

9種類届き、このうち2、3種類を選んで土をかぶせた。

どの種類が育つかは、収穫を迎える夏場のお楽しみ。参加者同士で協力しあいながら作業が行われ、和やかな雰囲気になった。

生形地域公民館の只野高雄館長(64)は「野菜を育てれば考える時間が生まれ、生活にもハリが出てくる。夏に食べる楽しみも生まれていいですね」と話していた。

北海道から面が到着①、児童らも笑顔で苗植えに参加②大船渡市

